

2020年10月14日

各位

SMFL レンタル株式会社

ロボトライ提供開始について

三井住友ファイナンス&リース株式会社のグループ会社である SMFL レンタル株式会社（代表取締役社長：八瀬 浩一郎、以下「SMFL レンタル」）は、ロボットシステム（ロボットを活用した生産ライン）の導入を検討するユーザー向けに“ロボトライ”の提供を開始します。

今般の新たなサービスでは、SIer（system integrator）によるロボットの「仕様定義」（顧客の要件、システムの実現性検証・構想設計、業務運用確認、費用算出など）の検討、設計や部品選定、組立調整、テスト実務を検証用ロボットのレンタルと一体で提供します。

現状におけるロボットシステムの導入では、SIer とユーザーとの間で「仕様定義」の合意形成が不十分な状態でシステム構築が進められ、終盤になってから認識違いが判明し、変更や追加改修などが発生するケースや、導入そのものが頓挫するケースが多くみられています。この問題に対して F A ・ロボットシステムインテグレータ協会（SIer 協会、会長：久保田 和雄）は、RIPS（ロボットシステムインテグレーション導入プロセス標準：2017年6月、経済産業省公開）に基づいて「仕様定義」を明確化することを推奨しており、これによりシステム構築合意を明確に形成することで、終盤の手戻りを最小限に抑えることが可能になるとしています。

SMFL レンタルでは、テストで使用するロボットをレンタル提供し、SIer が行うロボットの先端で対象物を掴む機構の製作や検証実務および検証レポート作成実務をサポートすることで、中堅・中小企業のロボット導入を支援していきます。既に所有している国内外数社の協働ロボットからサービスの提供を開始し、今後ユーザーのニーズに合わせて可搬重量のラインナップを揃える予定です。

国内の製造業では、従来からの労働力人口の減少に加え新型コロナウイルス感染症の影響を受け、省人化のみならず非接触化に向けた作業工程への移行が今後ますます必要となっています。SMFL レンタルでは、これまで培ってきたロボット分野での知見・ノウハウおよびパートナーとのアライアンスを基に、SIer 協会と密接な連携をとりつつ各種レンタルサービスやスキームを提供していくことで、さまざまな製造現場におけるロボット導入の裾野拡大に貢献していきます。

以上

【本件に関するお問合わせ先】

SMFL レンタル株式会社

新規開発事業部 多田

03-5226-5038